

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練指導室は65㎡あり十分な広さを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			原則として児童2.5人に対し1名の指導員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			訓練指導室からトイレまではバリアフリーになっており車椅子でも利用できる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングを実施しており職員全員から意見を聞いている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者と連絡を蜜に取っておりニーズに応えた業務改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者の外部評価は実施していないが相談支援員の意見を取り入れている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎週研修会を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援員と連携をとり十分な時間を費やして支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			原案を担当者が決め、職員のディスカッションで決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動療育を基本とするが、個々の児童に合わせた活動を実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と学校休業日では支援内容を変えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画に基き、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			受入前ミーティングは必ず実施し、支援内容や役割分担を明確にしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティングを必ず実施し、次回の支援に役立っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録はその日のうちに記録している。それを共有し改善につなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			原則、半年に一度モニタリングを行っている。必要であれば前倒しで実施する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			製作、食育、お出かけ、地域交流を柱として支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	サービス担当者会議を開催して頂いていない。もっと行政に働きかけていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者とは連絡帳や電話を通して、学校とは必要に応じて連絡を取り適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	当事業所では、医療的ケアを必要とする児童は現在のところいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	児童発達支援事業所とはまだ密に連絡を取れていないので今後頻繁にとるように努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童は現在のところいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	児童発達支援センターへは訪問しているがもう少し頻繁に訪ね助言をもらうようにする。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在のところ健常児と一緒に活動できていないので今後取り組みたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在参加できていないので問い合わせの上参加できればしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的に保護者との面談や日々の連絡を通じ共通理解をもっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	レスパイトケアは実施しているがまだ十分ではない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に懇切丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内で相談に応じている。時には家まで出向き助言している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会はまだ1度しか行っていないので頻度を上げる。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には、担当指導員が管理者・児発管に即時報告し、保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月キッズボンド通信を月初に発行し保護者に配布、活動の様子を伝えている。翌月の予定も配布、周知している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			各書類は鍵付書庫で厳重に保管管理、写真にはモザイクをかけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			あいまいな表現は避け、場合によっては視覚化して意思の疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	まだ出来ていないのでイベントを増やして交流を図っていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		書類にして周知しているが定期的に各マニュアルを見るようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	まだ出来ていないので消防署と連携をとり講義と避難訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会で数回テーマとして取り上げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束については児童、保護者ともに説明をして了解を得ている、なおかつ運営規定にも記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示書はとっていないので早急に取り組む。保護者からは聞き取りを行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所だけでなく、グループ全体で共有している。